

1) 概要

沖端川および矢部川の2か所の堤防決壊により、市内への浸水地域は市域の約3分の1の2680haに広がった。特に、沖端川の堤防決壊箇所に近い三橋町中山地区や二ツ河地区、矢部川の堤防決壊箇所に近い大和町六合地区や中島地区では甚大な被害を受けた。被害は、家屋の浸水、事業所の浸水、公共施設の浸水、農地の冠水、道路・水路の冠水など広範囲に及んだ。また、矢部川では、中島漁港が大きな被害を受け、有明海には大量の流木や廃船、ガレキが漂流した。被害額は、総額で23億5535万円にも上った。

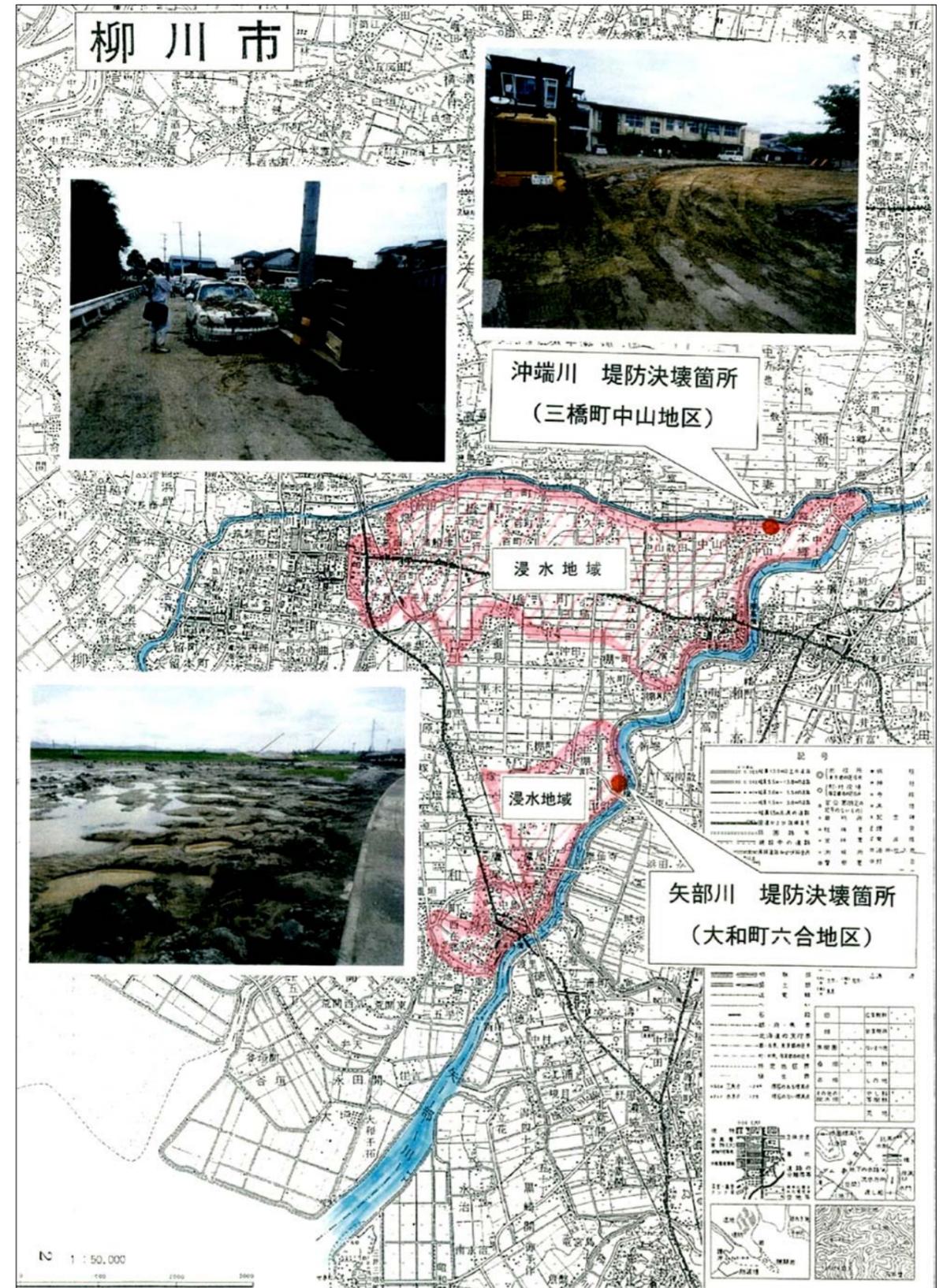


立花いこいの森公園（写真中央）そばの沖端川堤防が決壊し浸水した中山地区



津留橋（写真中央）そばの矢部川堤防が決壊し浸水した六合地区

柳川市内の浸水地域



2) 人的被害

7月14日16時13分頃、柳川市三橋町白鳥の国営水路岩神線4号制水門東側で普通自動車が水路に転落し、運転していたみやま市在住の28歳男性が亡くなった。

119番通報は16時29分にあり、柳川消防署消防隊及び救急隊が現場に急行した(出動車両6台21人)。現場状況は、水門東側の道路が冠水し、普通自動車は水没しており、目撃情報をもとに捜索すると、車両が水門に挟まれた状況を確認した。しかし、水門は水害により排水の水流が速く渦を巻いている状況で、潜水捜索は不可能な状態であった。よって、クレーン車による引き揚げを実施したが、車両本体の引き上げができなかった。警察署と協議し、14日は21時19分に捜索活動を一旦休止した。

翌15日9時から捜索活動を再開した(消防署出動車両3台9名)。この時点で水位は下がり、転落車両及び運転手は目視で確認できる状況となり、9時14分に警察署と合同で遺体を収容し、その後、クレーン車での車両引き上げを完了した。

今回の災害での人的被害は、死者1人、軽傷1人。



柳川消防署、柳川警察署が出動して水路に自動車転落した人の捜索に当たった



倒壊寸前の家屋(中山)



床上浸水し畳等をはがした状況(六合)



浸水が1.9m近くに及ぶ家屋もあった(中山)

3) 住家等の被害

住家等の被害については、沖端川及び矢部川の堤防決壊による洪水が主なものである。

被害が多かったのは、2か所の堤防決壊に近い地域であるが、洪水が長時間続いたために、周辺の地域にも浸水被害が拡大していった。特に、中山地区では、全壊1、大規模半壊8、半壊84、一部損壊36の床上浸水が129件にも上り、土砂が流れ込むなど被害がひどかった。隣接する二ツ河地区も、半壊22、一部損壊40の床上浸水62件の被害となった。

一方、六合地区では、半壊3、一部損壊58の床上浸水61件の被害を受け、浸水が及んだ中島地区でも半壊17、一部損壊58の床上浸水75件と大きな被害となり、全体で床上浸水が380件にも上った。

■住家の被害件数

単位：件

区分	三橋					大和			柳川		計
	中山	二ツ河	垂見	藤吉	矢ヶ部	六合	中島	皿垣	柳河	城内	
床上浸水	全壊	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	大規模半壊	8	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	半壊	84	22	1	10	0	3	17	0	0	137
	一部損壊	36	40	13	20	2	58	58	1	5	234
	計	129	62	14	30	2	61	75	1	5	380
床下浸水	472					342			139		953

4) 公共施設の被害

○公園施設の被害

沖端川堤防の決壊現場の南側に隣接した「立花いこいの森公園」が直撃の洪水で大被災した。

7月15日の被災調査では、同公園内の浸水水位は2.08mから1.40mくらいあった。また、土砂は、厚い所で30cmから40cm、薄い所で13cmから20cmほど堆積し、公園全体で約6500㎡に広がり堆積していた。

公園内には、ガレキや流木が積み重なり、張り芝工(5900㎡)、水飲み場(1基)、浄化槽(1基)、照明灯(1基)、アスファルト舗装工(1000㎡)、土舗装工(2720㎡)、コンクリート縁石(111m)、区画線(180m)遊具工(3基)、バックネット工(1基)、防護柵復旧(162m)、防護柵再設置工(76m)、門扉(1基)が被災した。被害額は58,000千円。



公園内の至る所に流木が折り重なった



大量の土砂で埋まった公園広場

○市営住宅の被害

堤防決壊による浸水で、鷹園団地(大和町鷹ノ尾)、垂見三団地(三橋町垂見)、中山団地(三橋町中山)、桜ノ木団地(同)の4か所の市営住宅が被害を受けた。被害額は2,804千円。

市営団地	被害内容
鷹園団地	床上浸水8戸、床下浸水2戸
垂見三団地	床下浸水10戸
中山団地	駐車場等泥土流入堆積
桜ノ木団地	駐車場等泥土流入堆積



中山団地の周辺も浸水に覆われた

○学校施設の被害

沖端川の堤防決壊現場に近い中山小学校と、矢部川の堤防決壊現場に近い六合小学校へは大量の泥水が流れ込み、大きな被害を受けた。特に、中山小学校では、運動場のみならず、校舎、体育館の床上まで浸水し、大量の泥土が流入した。その他の学校でも、プールのろ過機等が水に浸かるなどの被害があった。被害額は32,378千円。

■学校施設の被害件数・被害額

小中学校の別	被害件数	被害額(千円)
小学校施設	4	31,191
中学校施設	1	1,187
合計	5	32,378



中山小学校の周辺は深く冠水した(写真提供:中山小学校)



中山小1階の廊下や教室へも浸水(写真提供:中山小学校)



六合小学校の校舎は床下浸水した



大和中学校の運動場へも浸水

○社会教育施設の被害

沖端川及び矢部川の堤防決壊による洪水が長時間続いたために、三橋公民館及び大和公民館へも浸水が及んだ。三橋公民館では大ホールに浸水するなど、大和公民館とともに床下浸水となった。

避難所となっていた2館では、浸水により、避難所を移ってもらわなければならない事態となった。

また、三橋グラウンドにも泥土が流れ込み、冠水した。被害額は9,944千円。

■社会教育施設の被害件数・被害額

施設名	被害内容	被害額(千円)
三橋公民館	床下浸水	2,710
大和公民館	床下浸水	918
三橋グラウンド	泥土流入浸水	6,316
合計		9,944



三橋公民館は大ホールへも浸水



三橋グラウンド周辺は一面冠水

○文化財等の被害

福岡県指定天然記念物の「中山の大フジ」は、沖端川の堤防決壊現場南側に隣接し、樹幹が一時水没して、泥土が最大約 20cm 堆積した。

また、福岡県指定有形文化財の「旧戸島家住宅」では、城堀の水を引き入れた国指定名勝「戸島氏庭園」の池泉の水位が急上昇し、床下浸水の被害を受けた。

その他の文化財では、叩きつけるような豪雨による土砂の流出や雨漏等の被害を受けた。

■指定文化財等の被害件数

文化財等	被害件数
国指定文化財等	2
県指定文化財	4
市指定文化財	2



濁流が襲い土砂が堆積した中山の大フジ（中山熊野神社境内）

○保健福祉施設の被害

三橋総合保健福祉センター「サンブリッジ」の合併処理浄化槽が水没しプロアが故障した。被害額は 374 千円。

5) 道路、水路等の被害

○道路等の被害

沖端川及び矢部川の堤防決壊現場から拡大していった浸水地域は、市域の約 3 分の 1 の 2,680ha に広がった。

これにより、幹線道路の国道 443 号線や国道 208 号線、県道柳川・筑後線や県道大和・城島線をはじめ、県道、市道が至る所で冠水し、通行止めによる交通規制が行われた。

被害は、堤防決壊による急激な浸水で、水路法面の崩落とともに道路路肩の破損や、橋梁の破損などが出た。被害額は 18,369 千円。

■道路等の被害件数・被害額

施設名	被害内容・件数	被害額(千円)
道路	路肩破損 4	16,689
橋梁	鋼橋破損 1	1,680
合計	5	18,369

○水路の被害

沖端川及び矢部川の堤防決壊により、現場周辺を中心に水路施設が多大な被害を受けた。

被害は、激しい濁流とともに流れ出た土砂や流木、ガレキ等により、水路の法面崩壊や埋没、樋管の破損などの損害を被った。被害箇所は、水路施設等 57 箇所（水路 48 箇所、樋管 9 箇所）、農業用施設（水路）23 箇所、延長 935 m に上った。被害額は 145,047 千円。

■道路等の被害件数・被害額

施設名	被害件数	被害額(千円)
水路施設等	57	36,247
農業用施設（水路）	23	108,800
合計	80	145,047



土砂で埋まった水路と樋門（中山）



深く浸水した北浦排水機場周辺（中島）

6) 農業関係被害

○農地被害

沖端川及び矢部川の堤防決壊により、中山地区及び六合地区の農地は、濁流の水圧による浸食とともに大量の土砂等が流入し、堆積した。また、道路の路肩法面も浸食され、崩落するなど甚大な被害を受けた。

被害は、農地への土砂の堆積、表土のはがれ、砂利等の散乱、排水不良などが生じた。被害額は、146,000千円。

■農地の被害面積・被害額

地域	被害面積 (ha)	被害額 (千円)
三橋町	15.0	103,000
大和町	7.8	43,000
合計	22.8	146,000



矢部川の堤防決壊により濁流とともに大量の土砂が流れ込み埋まった農地（六合）

○農産物被害

被害額は 648,483 千円。

水稲・大豆

水稲は、播種後 1 か月もたたない中で、浸水や土砂の流入により甚大な打撃を受けた。また、大豆は、災害時には播種を行っていなかったが、災害により播種を適期にできない状況となり、今後の生育への影響が懸念された。

■水稲・大豆の被害面積・被害額

作物名	被害面積			計 (ha)	被害見込額 (千円)
	三橋町	大和町	その他		
水稲	300	80	1,720	2,100	287,640
大豆	250	50	900	1,200	284,400
合計	550	130	2,620	3,300	572,040

野菜・果樹

中山地区では、冠水や土砂の流入により園芸施設に大打撃を受けた。夏秋ナスやトマト、ネギ、ニラなど収穫中の農産物が損害を被った。

■野菜・果樹の被害面積・被害額

作物名	被害面積 (ha)	被害見込額 (千円)
ナス	518	25,775
夏秋ナス	20	1,846
アスパラガス	100	2,045
イチゴ	135	25,688
トマト	200	14,514
オクラ	50	2,657
ネギ	21	2,464
ニラ	10	1,330
イチジク	14	124
合計	1,068	76,443



沖端川の堤防決壊により激しい濁流が襲い全壊したビニールハウス（中山）

○農業施設被害

被害額は、138,485 千円。

農業用ビニールハウス

中山地区では、決壊現場近くの農業用ビニールハウスが大きく倒壊し、4 件、6636㎡が全壊した。被害見込額は、102,464 千円。

園芸付帯施設

堤防決壊による浸水で、園芸付帯施設の加温機、換気扇等が全損や一部損壊などの被害を受けた。

■農業施設の被害件数・被害額

作物名	件数	被害見込額 (千円)
加温機	17	19,736
灌水パイプ	20	6,700
自動換気	4	4,400
換気扇	3	1,430
夜冷冷房機	2	3,600
その他	2	155
合計	48	36,021

○畜産被害

矢部川の堤防決壊で、大和町六合地区の養鶏場が浸水し、育成の採卵鶏 800 羽の損害を受けた。被害額は、550 千円。

○い業被害

沖端川の堤防決壊で、三橋町百町等のい草の原草を保管していた倉庫が浸水し、原草 1800 貫（1 貫は 3.75kg）の損害を受けた。被害額は、3,240 千円。

7) 漁業関係被害

7 月 14 日、矢部川の長時間続いた記録的な水位の上昇と土砂や流木等を巻き込む濁流により、河口付近の中島漁港で、漁船や浮棧橋等が流出、破損し、物揚場や泊地、航路が埋塞する被害を受けた。また、漁場である有明海には、大量の土砂や流木等が流れ込み、甚大な被害となった。

更に、中島漁港付近の漁業集落では、家屋や道路の浸水だけでなく、海苔乾燥機や培養施設等を設置する海苔加工場が浸水した。

その他、市内を流れる塩塚川、沖端川、筑後川の河川内漁港においても、流木、塵芥等が漂着するなど、九州北部豪雨により、基幹産業である水産業に深刻なダメージを与えた。被害額は、233,100 千円。

■漁業関係施設の被害件数・被害額

施設名	被害件数	被害額 (千円)
漁港	5 港	77,100
漁船	42 隻	13,000
浮棧橋	14 か所	20,000
ホイストクレーン	5 基	10,000
係船柱	1300 本	13,000
海苔加工場	58 施設	100,000
合計		233,100



矢部川の長時間の洪水により壊滅的な被害を受けた中島漁港



大量の流木やガレキ、廃船などが漂流、漂着した有明海岸

8) 商工業関係被害

沖端川及び矢部川の堤防決壊による浸水が広範囲に及んだために、事業所や店舗等が多大な被害を受けた。特に、決壊現場周辺を中心に三橋地域、大和地域において、大きな被害が生じた。

被害は、商業 41 件、1 億 208 万円、工業 36 件、7 億 4,002 万円、その他 19 件、6,330 万円となり、合計で被害件数 96 件、被害額 9 億 540 万円に上った。

■商工業の被害件数・被害額

区分	件数	被害額（千円）
商業	41	102,080
工業	36	740,020
サービス業等	19	63,300
合計	96	905,400



事業所の屋内にも大量の泥水が流れ込み復旧に追われた

9) 災害廃棄物処理

災害被害は、甚大で広範囲にわたり、被災の住家、非住家、店舗等からの廃棄物や、農漁業、商工業等からの廃棄物が大量に発生し、被災翌日の 7 月 15 日から、災害廃棄物の処理を開始した。

廃棄物の仮置場は、三橋仮置場（三橋体育館北駐車場）、大和仮置場（大和町ピアス跡地）、柳川仮置場（橋本不燃物処理場）の 3 箇所を設定した。災害廃棄物の一部については、福岡県の仲介により福岡市と大川市にて広域処理を行った。

総処分量は、2,765 t、処分経費は、1 億 3,175 万円にも上った。



沖端川堤防決壊による災害廃棄物が積まれた三橋仮置場



矢部川堤防決壊による災害廃棄物が積まれた大和仮置場

10) 7.14 災害の被害額一覧

項目	区分	被害額（千円）
公共施設	公園施設	58,000
	市営住宅	2,804
	学校施設	32,378
	社会教育施設	9,940
	保健福祉施設	374
	道路	18,369
	水路	145,047
農業	農地	146,000
	農産物	648,483
	農業施設	138,485
	畜産	550
	い業	3,240
漁業		233,100
商工業	商業	102,080
	工業	740,020
	その他	63,300
災害廃棄物処理		135,175
合計		2,355,345